

健康支援センターホームページ <a href="https://sweb.u-shizuoka-ken.ac.jp/~kenko/index.html">https://sweb.u-shizuoka-ken.ac.jp/~kenko/index.html</a>	
健康増進室（一般教育棟一階）	医務室（はばたき棟一階）
9時～17時（金16時）	9時～16時（金15時）
054-264-5200	054-264-5117
kenko1@u-shizuoka-ken.ac.jp	soudan2@u-shizuoka-ken.ac.jp

## HIV（エイズ）検査普及週間 令和8年6月1日～6月7日

**HIV** (human immunodeficiency virus、ヒト免疫不全ウイルス)  
 : エイズの原因になるウイルス  
**エイズ** (acquired immunodeficiency syndrome、後天性免疫不全症候群)  
 : HIVに感染するとヘルパーT細胞がボロボロになる  
 【感染初期】感染後4～8週間は抗体が産生されず大量のHIVが体内に存在し、他人にうつす力が極めて高い  
 【無症候期】数年間は自覚症状のない時期が続き、その間に病原体などから体を守る免疫が徐々に低下する  
 【エイズ発症期】ヘルパーT細胞が少なくなり、健康時には感染しない様々な感染症や癌などにかかるようになった状態

◆主な感染経路

- 性的接触（異性間・同性間）による感染
- 血液を介する感染（注射器の共用など）
- 母子感染

HIVは、感染者の血液、精液、膣分泌液、母乳の中に多く含まれるので、これらを介した感染が起こる

**コンドームがHIV感染予防に有効**

次のような感染経路では感染しない

- 握手・せき、くしゃみ
- ペットボトルの回し飲み
- プール、お風呂
- ドアノブ、電車のつり革 など

性感染症はオーラルセックスやアナルセックスでも感染する

性感染症（エイズ・クラミジア感染症・淋菌感染症・梅毒等）を引き起こすウイルスや菌は、性器・口腔など粘膜、および精液や膣分泌液を介して感染

- ピルでは感染は防げない
- コンドームが物理的接触を防ぐので有効

ただし、効果を得るためには、セックスの始めから装着する必要がある

**感染したかも・・・思い当たることがあったら**

健康支援センターで相談 秘密を守ります

一人で悩まず相談してください

2～3か月経ってから検査 感染機会から2か月すぎないと結果が出ない  
 抗体があるか否かを調べるため、少なくとも2か月経ってから検査

保健所で検査を受ける 保健所なら全国どこでも無料・匿名で

検査は5ccの採血だけ

相談窓口

- ・静岡市保健所 Tel 054-249-3172
- ・中部健康福祉センター中部保健所 Tel 054-644-9273
- ・中部健康福祉センター榛原分庁舎 Tel 0548-22-1151

・事前電話予約をして予約番号を聞く

検査のメリット 早期治療を開始で自分の命とパートナーを守る

早期治療で発病を防ぎ、体内のHIVを減らし自分の命を守るとともに、パートナーに感染させる危険性をほぼゼロにまで下げることができる

献血での血液検査ではHIVの通知はしていない

感染初期の血液を輸血した場合、新たな感染者を生むことになるので許されることはありません



コンドームの使い方

- 先端の空気を抜き装着  
空気が入ると圧力がかかり破れることも
- 手でしっかり押さえ根本まで装着
- 射精後は、根元を抑えて速やかに抜く
- ワセリンやオイルはコンドームを痛める  
潤滑油が必要な水性のものを
- 使用期限確認  
保管は財布はやめ、ハードケースにする

【現在のHIV感染症】  
 「コントロール可能な病気」

- 治療を続けながら今までと同様の生活も可
- 生涯に渡る服薬が必要 1日1錠の薬も登場
- 日本では、自立支援医療制度による医療費の公費負担などの制度がある

性感染症

- ・クラミジア感染がもっとも多い
- ・梅毒が拡大している
- ・性器ヘルペスは再発を繰り返す
- ・淋菌感染症は女性より男性が症状が出やすい。
- ・不妊症や早産・死産の原因になる

参考：感染症ハンドブック2026（2026/02/20），（JUHA 国際連携委員会・jnuha 感染症委員会）  
 Infection HANDBOOK2026（英語版）ダウンロード（PDFファイル：2.5MB）  
 感染症 HANDBOOK2026（日本語版）ダウンロード（PDFファイル：3.4MB）